

統計界で最高の栄誉とされる
令和2年度大内賞受賞者決定



(メダル表面)



(メダル裏面：「統計天下」大内兵衛)

1 大内賞の概要

大内賞は、戦後における我が国の統計の再建に政府の統計委員会委員長として尽力した大内兵衛博士の業績を記念して、昭和28(1953)年度に設けられたものである。我が国の統計の進歩に貢献した個人、団体等を顕彰するもので、統計界の最高栄誉とされており、令和元年度までに322名・3団体が受賞している。

2 令和2年度の大内賞受賞者

大内賞受賞者を選考する大内賞委員会（委員長：北村行伸総務省統計委員会委員長）は、今年度の大内賞を次の3氏・1団体に贈ることを決定した。

(氏名 50音順)

・多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人

・多年統計の普及に努め、我が国の統計の進歩に貢献した人

○ 芦谷 恒憲 氏 (兵庫県：兵庫県企画県民部ビジョン局統計課参事)

・多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人

○ 伊豆田 サダ子 氏 (山形県：統計調査員)

○ 岩濱 好則 氏 (東京都：元農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課長)

・統計の実務又は普及を通じ、我が国の統計の進歩に顕著な貢献をした人又は団体等

○ 一般財団法人 統計質保証推進協会 統計検定センター

大内賞受賞者には、賞状のほか副賞として大内兵衛博士の横顔をデザインしたメダルと賞金が授与される。

3 受賞者の業績

- ・多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人
- ・多年統計の普及に努め、我が国の統計の進歩に貢献した人

○ 芦谷 恒憲 氏 (兵庫県：兵庫県企画県民部ビジョン局統計課参事)

長年にわたり統計業務に従事し、政策立案や政策評価等への各種統計データの効果的な活用を図るため、統計データの加工分析ツールの作成及び提供を積極的に行い、さらに、国民経済計算、県民経済計算の算定に尽力するとともに、全国の大学や自治体等において統計に係る研修等の講師を務めるなど、我が国の統計の進歩に貢献した。

- ・多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人

○ 伊豆田 サダ子 氏 (山形県：統計調査員)

工業統計調査、家計調査、商業統計調査など44年間にわたり176回の統計調査に従事した。中でも、世帯の協力を得ることが困難とされる家計調査には28年間にわたり従事し、誠実な応対と懇切丁寧な説明により調査対象者との信頼関係を構築し、他の統計調査員の模範となるなど、我が国の統計の進歩に貢献した。

○ 岩濱 好則 氏 (東京都：元農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課長)

長年にわたり農林水産統計業務に従事し、この間、農業経営統計調査について、報告者負担の軽減を図る等の調査方法の簡素化など抜本的な見直しに取り組んだほか、農林業センサス結果と他統計及び行政記録情報を合わせて提供する総合データベースを構築してユーザー視点に立った統計データの提供・利用促進に寄与するなど、我が国の統計の進歩に貢献した。

- ・統計の実務又は普及を通じ、我が国の統計の進歩に顕著な貢献をした人又は団体等

○ 一般財団法人 統計質保証推進協会 統計検定センター

統計に関する知識及び活用力を評価し、国際社会で広く通用する能力を認証するために、統計関係者の協力を得て統計検定を創設した。明示的な評価基準による検定試験を通して、適切な指針に基づく学習機会を社会に提供し、統計教育の推進と統計関連人材の育成に貢献する一方で、統計作成者の評価を通じて公的統計の質保証に貢献するなど、我が国の統計の進歩に顕著な貢献をした。

【参 考】

1 大内賞の受賞資格・受賞者数

- (1) 著書、論文等によって、我が国の統計実務の進歩に直接貢献した人
- (2) 多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人
- (3) 多年統計の普及に努め、我が国の統計の進歩に貢献した人
- (4) 統計の実務又は普及を通じ、我が国の統計の進歩に顕著な貢献をした人又は団体等

- ・受賞資格別受賞者数：(1)41名、(2)267名、(3)16名、(4)1名・4団体
- ・所属分野別受賞者数：研究者等15名、府省関係100名、地方公共団体関係57名、統計調査員70名、民間団体等職員70名、団体4、その他13名(調査対象農家・漁家) 計325名・4団体

2 大内賞委員会の構成

大内賞委員会は、総務省統計委員会委員長を委員長とし、統計委員会の部会長(7名)により構成されている。

◆大内賞委員会事務局◆

公益財団法人 統計情報研究開発センター
担 当：湯井 要
電 話：03-3234-7478
E-mail：kanameyui@sinfonica.or.jp